

海外留学体験記

学校教育教員養成課程 英語選修 内藤真優

私は2021年の9月から、茨城大学と協定校であるイギリスのウスター大学に交換留学をしています。他にも世界各国に協定校がありますが、本場の英語を学ぶためにも、イギリスを選択しました。準備は2020年の夏から始まり、英語試験で必要なスコア取得をしたり、面接などを行ったりしました。コロナ禍ということで留学ができる保証もありませんでしたが、高校生の時から抱いていた長期留学という夢は諦めたくなかったため、できる準備は徹底して行いました。イギリスに来てからは初めてのことで、時間が過ぎるのがとても速く感じています。その中で、言語や文化の壁に直面することもたくさんあります。しかし、大変なことも含め、新しい人との出会いや日本では学ぶことのできない授業、異文化に囲まれた生活という貴重な経験ができていることは、一生の財産になると思います。留学生活も半分を終え、英語力などのスキルだけでなく、人として成長ができる素敵な経験になっていると感じています。また、将来は英語力を生かし、人とのつながりを大切にできる仕事に就きたいと考えています。理由は、茨城大学やウスター大学での出会いの中で、人とのコミュニケーションが好きだと感じたからです。このように留学を通して学んだことは数えきれず、留学を決断して良かったと心から思っています。そして、この体験記を読んでいる多くの高校生の方は、受験を控えていて、孤独や不安を感じていると思います。しかし、頑張っただけの経験は、絶対に無駄にはなりません。私自身も受験時は英語が得意ではありませんでしたが、地道に努力を続けた結果、夢だった留学を現実にすることができました。皆さんも、どうせ自分は…と諦めるのではなく、一歩踏み出してチャレンジしてみてください。また、1つでも大学生になって実現したいことを持っておくと、受験勉強で辛い時のモチベーションにもつながると思います。頑張る皆さんを応援しています！

